

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表: 令和5年3月15日

事業所名 放課後デイみんと 保護者等数(児童数) 13 回収数 8 割合 61.5 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	1				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	3			・例えば専門職員一人当たりの児童数ってあるのかな？	・放課後等デイの職員配置につきましては、利用定員10名までは2名以上となっております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8					
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	8					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	7			1		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	2		・コロナ禍もあって交流などなかなか出来ないのだと思います。	・新型コロナウイルス感染症予防対策の観点より、昨年に引き続き今年度も機会を設けませんでした。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	1				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	5	1	1	・まだ入ったばかりなので。	・新型コロナウイルス感染症予防対策の観点より、今年度は機会を設けませんでした。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	2		1		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7			1	・連絡ノートは本当に始まってありがたかったです。	・お子さんの状況に応じてご家族と連絡ノートのやり取りを行っていきたいと感じております。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8					
14 個人情報に十分注意しているか	10			1			
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8				・わかりません。	・各々のマニュアルは事業所内にあります。確認したい方はお気軽に声をおかけください。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	3		1		
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	6	2			・とっても楽しみに通わせてもらっています。 ・毎回行くのが楽しみにしています。	・ありがとうございます。今後も皆さんが満足の出来る活動を提供していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	8				・まだ入ったばかりで分からない所がありますが、私たち子ども達も満足しています。 ・長期休暇のみの利用なのであまり職員さんが分かりません。保育所ではその日の職員さんの顔写真と当番(早番遅番とか)が玄関に掲示してあっていいなと思うのですが、みんなさんではどうかしら…。もう実施されていたらごめんなさい。いつもありがとうございます。	・ご意見ありがとうございます。職員一人一人の専門性の向上を目指すように努めます。 ・貴重なご意見ありがとうございます。出勤職員の写真については早速取り入れさせてもらいました。また気になる事がありましたらお気軽に声をおかけください。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等にに応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月15日

事業所名 放課後デイ みんな

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	・定員10名としては狭い為体育館やグラウンドなどを適宜活用している。 ・机やイスが動かされるので調節が出来る。	
	2	職員の配置数は適切である	5		・全職員がどの子にも支援が入ることが出来る為、補い合いながら出来ている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		・車椅子が通れるようにまた、大人から小児まで活動しやすい設備になっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		・毎日ミーティングが行われ、支援について情報交換出来、困りごとに対してすぐに対応できる。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・昨年度のアンケートを振り返り業務改善を行っている。 ・アンケートが適宜行われているが、コロナ以前以後の利用保護者で回答しにくい箇所もあると感じる。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			・ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1		・外部評価は行っていない。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・施設内研修への参加を行っている。 ・施設内研修や外部のZOOM研修など幅広く機会を持っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		・連絡ノート、電話、送迎時間関係機関等で日々の声を細やかに拾うことが出来る。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・プログラムは相談をしながら行っている。 ・チームで活動を考えたり、担当の個別活動を考えたり、柔軟に対応を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・子どもの様子に応じた活動を取り入れている。 ・固定の活動プログラムを作りつつも刺激となるように、変化に富んだ活動を計画・立案している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		・都度、確認、設定、成長過程を共有できている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		・一人一人に合わせて個別集団の活動が出来る様に配慮されている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・毎日ミーティングの時間が確保できている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	・翌日に話し合い、支援の確認を行っている。 ・毎日の振り返りの時間を取れている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・その日の出来事を客観的に記録できるように努めている。		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		・おおよそ3か月～6か月に一度は振り返りを行っている。 ・モニタリングを行い、更なるスキルアップに向けて話し合いが出来る。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・児童発達支援管理責任者が参加している。 ・児発管が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		・送迎時や電話等で細やかな連携が行えている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			・医療的ケアが必要な子供はいない。 ・施設の看護師との連携、職員間での緊急時の対応について話し合いが出来ている。	・医療的ケアが必要な利用者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		・情報提供を求め、会議を開いている。 ・就学前の訪問や就学後にも おって情報共有が出来ている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		・相互に情報共有を行うことが出来ており、助言を支援に活かしている。 ・相談支援事業所と連携をして対応を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	・コロナ対応の為積極的には行っていない。 ・コロナの状況の為交流、外部からの受け入れが難しいと感じる。	・新型コロナウイルスの感染状況により、状況を鑑みながら検討する必要がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・利用の際のお迎え時には適宜話を伝えている。 ・送迎時や連絡ノート等で日々の状況を伝え、共通理解に努めている。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	・助言は適宜行っている。 ・悩みや相談をしっかりと耳を傾け早急な対応に心掛けている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・契約、モニタリング説明等で丁寧な説明を心掛けている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・悩みや相談に対して近況の成長をお伝えしながら、必要な助言を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	・コロナの状況で保護者会等の交流の場を設けるのは難しいと感じる。	・内容について検討していく必要あり。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・苦情にならないように、日頃から丁寧な対応、支援に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		・広報を年に5回程度発行している。 ・会報を年5回発行し、事業所での活動の様子を写真を交えてわかりやすく伝えている。	
	35	個人情報に十分注意している	5		・PCデータや紙媒体を持ち出し出来ないようになっている。情報共有でも気を付けている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・連絡ノートで様子を伝えている。 ・その子に合ったコミュニケーションの取り方を工夫している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		・コロナ対応の為、住民の招待等は出来ていない。 ・コロナの状況で難しい面がある。	・法人内で感染症の状況を鑑みながら状況に応じた対応を検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に周知はあるが、保護者に周知はしていない。 ・対応策について都度お伝えしている。 	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	<ul style="list-style-type: none"> ・月一度の防災訓練が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報などを有効活用し、事業所で行っていることを感謝に向けて伝えていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の研修への参加や会議録の確認を行っている。 ・職員間での勉強会や虐待防止に関する唱和を行っている。 	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、身体拘束を必要としないので取り組みなし。 	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士や調理と連携を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在食物アレルギーに配慮する利用者はいないが、必要に応じて対応する
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	<ul style="list-style-type: none"> ・共有できている。 	